

【表紙】

| | |
|------------|------------------------------------|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 近畿財務局長 |
| 【提出日】 | 平成25年2月14日 |
| 【四半期会計期間】 | 第67期第3四半期（自平成24年10月1日至平成24年12月31日） |
| 【会社名】 | 株式会社サンユウ |
| 【英訳名】 | SANYU CO.,LTD. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 上野 隆 |
| 【本店の所在の場所】 | 大阪府枚方市春日北町三丁目1番1号 |
| 【電話番号】 | 072-(858)-1251(代表) |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役財務部長 西村 圭二 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 大阪府枚方市春日北町三丁目1番1号 |
| 【電話番号】 | 072-(858)-1251(代表) |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役財務部長 西村 圭二 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号) |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第66期 第3四半期 連結累計期間 | 第67期 第3四半期 連結累計期間 | 第66期 |
|---------------------------------|----------------------------|----------------------------|---------------------------|
| 会計期間 | 自平成23年4月1日 至平成23年12月31日 | 自平成24年4月1日 至平成24年12月31日 | 自平成23年4月1日 至平成24年3月31日 |
| 売上高(千円) | 11,020,963 | 10,708,214 | 14,839,048 |
| 経常利益又は経常損失() (千円) | 134,998 | 57,464 | 166,161 |
| 四半期(当期)純損失() (千円) | 45,227 | 122,553 | 29,891 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (千円) | 75,691 | 139,756 | 19,224 |
| 純資産額(千円) | 6,731,976 | 6,606,775 | 6,788,444 |
| 総資産額(千円) | 16,357,321 | 15,115,528 | 16,400,902 |
| 1株当たり四半期(当期)純損失 金額()(円) | 7.56 | 20.48 | 5.00 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円) | - | - | - |
| 自己資本比率(%) | 41.2 | 43.7 | 41.4 |

| 回次 | 第66期 第3四半期 連結会計期間 | 第67期 第3四半期 連結会計期間 |
|-------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 会計期間 | 自平成23年10月1日 至平成23年12月31日 | 自平成24年10月1日 至平成24年12月31日 |
| 1株当たり四半期純損失金額 ()(円) | 1.61 | 4.42 |

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税及び地方消費税(以下「消費税等」という。)は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、1株当たり四半期(当期)純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

なお、当社グループのセグメントはみがき棒鋼及び冷間圧造用鋼線事業の単一事業であります。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災復興需要などにより緩やかな回復の兆しはあったものの、欧州の景気後退、中国経済の成長鈍化や円高の長期化などの影響により依然として厳しい状況が続きました。

みがき棒鋼及び冷間圧造用鋼線業界におきましては、主要分野の自動車業界がエコカー補助金の恩恵を受け堅調に推移していましたが、10月以降国内や海外（特に中国）において大幅な生産調整に入ったこと及び建設機械・産業機械業界が輸出の減少等で低迷していることにより、総じて活動水準は弱含みの状況にあります。

このような経営環境下、当社グループは全社を挙げて販売数量の維持継続、生産性の向上及びコスト削減に取り組みました。

その結果、販売数量は71千トン（前年同四半期比2.2%増）となりましたが、製品価格下落の影響により売上高は10,708百万円（前年同四半期比2.8%減）と減収になりました。

損益につきましては、製品価格下落時における簿価の高い在庫の払い出しやエネルギーコストの高騰による諸資材購入価格の上昇により当社単体の収益が減少したこと、株式会社サンユウ九州において減価償却費などの固定費負担が大きく赤字を余儀なくされたことなどにより、営業損失は63百万円（前年同四半期は148百万円の営業利益）、経常損失は57百万円（前年同四半期は134百万円の経常利益）、四半期純損失は122百万円（前年同四半期は45百万円の四半期純損失）となりました。

事業部門ごとの業績は、次のとおりであります。

まず、みがき棒鋼部門におきましては、販売数量は41千トン（前年同四半期比10.3%減）となり、売上高についても6,897百万円（前年同四半期比7.8%減）となりました。

次に、冷間圧造用鋼線部門におきましては、販売数量が30千トン（前年同四半期比26.2%増）となり、売上高についても3,811百万円（前年同四半期比7.7%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は15,115百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,285百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が266百万円、受取手形及び売掛金が425百万円、有形固定資産が225百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は8,508百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,103百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が1,015百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は6,606百万円となり、前連結会計年度末に比べ181百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金が164百万円減少したことによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(5) 主要な設備

前連結会計年度末において計画中であった主要な設備の新設のうち、㈱サンユウで計画しておりました太径伸線機（投資予定総額：160百万円、着手：平成23年12月、完了予定日：平成24年6月）は平成24年7月に完了いたしました。なお、同設備につきましては、当社が購入し㈱サンユウ九州に賃貸しております。

また、前連結会計年度末において計画中であった主要な設備のうち、㈱サンユウ九州で計画しておりました渦流探傷機（投資予定総額：25百万円、着手：平成24年6月、完了予定日：平成24年9月）は完了予定日を平成25年1月に変更しております。なお、同設備につきましては、当社が購入し同社に賃貸することに変更いたしました。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種 類 | 発行可能株式総数(株) |
|---------|-------------|
| 普 通 株 式 | 19,344,000 |
| 計 | 19,344,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年12月31日) | 提出日現在発行数(株) (平成25年2月14日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名 | 内容 |
|------|-------------------------------------|-----------------------------|------------------------------------|---------------|
| 普通株式 | 6,091,000 | 6,091,000 | 大阪証券取引所 市場第二部 | 単元株式数 100株 |
| 計 | 6,091,000 | 6,091,000 | - | - |

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年 月 日 | 発行済株式総 数増減数 (千株) | 発行済株式総 数残高 (千株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金増 減額(千円) | 資本準備金残 高(千円) |
|----------------------------|------------------------|-----------------------|----------------|---------------|------------------|-----------------|
| 平成24年10月1日～ 平成24年12月31日 | - | 6,091 | - | 1,513,687 | - | 1,317,207 |

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年12月31日現在

| 区分 | 株式数（株） | 議決権の数（個） | 内容 |
|----------------|-------------------|----------|----|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式（自己株式等） | - | - | - |
| 議決権制限株式（その他） | - | - | - |
| 完全議決権株式（自己株式等） | 普通株式 108,000 | - | - |
| 完全議決権株式（その他） | 普通株式 5,952,000 | 5,952 | - |
| 単元未満株式 | 普通株式 31,000 | - | - |
| 発行済株式総数 | 6,091,000 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 5,952 | - |

（注）平成24年9月4日開催の取締役会決議により、平成24年10月1日付で単元株式数の変更及び定款の一部変更が行われ、単元株式数を1,000株から100株に変更いたしました。

【自己株式等】

平成24年12月31日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有株式数（株） | 他人名義所有株式数（株） | 所有株式数の合計（株） | 発行済株式総数に対する所有株式数の割合（％） |
|-------------|------------------------|--------------|--------------|-------------|------------------------|
| 株式会社サンユウ | 大阪府枚方市春日北町 三丁目1番1号 | 46,000 | - | 46,000 | 0.76 |
| 大同磨鋼材工業株式会社 | 広島市西区小川内町1 丁目25番13号 | 62,000 | - | 62,000 | 1.02 |
| 計 | - | 108,000 | - | 108,000 | 1.77 |

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成24年10月1日から平成24年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,465,071 | 1,198,644 |
| 受取手形及び売掛金 | 1 4,468,241 | 1 4,043,111 |
| 商品及び製品 | 2,303,513 | 2,149,958 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,476,345 | 1,347,484 |
| 繰延税金資産 | 81,572 | 41,351 |
| その他 | 249,197 | 274,073 |
| 貸倒引当金 | 21,361 | 18,100 |
| 流動資産合計 | 10,022,581 | 9,036,523 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 2,079,752 | 1,935,643 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 2,098,395 | 2,066,520 |
| 土地 | 1,448,032 | 1,448,032 |
| リース資産(純額) | 21,424 | 19,570 |
| 建設仮勘定 | 57,000 | 15,600 |
| その他(純額) | 86,495 | 79,950 |
| 有形固定資産合計 | 5,791,099 | 5,565,317 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 66,166 | 53,760 |
| その他 | 36,058 | 33,364 |
| 無形固定資産合計 | 102,225 | 87,124 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 387,006 | 346,062 |
| 長期貸付金 | 63,137 | 44,005 |
| その他 | 48,983 | 51,750 |
| 貸倒引当金 | 14,131 | 15,255 |
| 投資その他の資産合計 | 484,995 | 426,562 |
| 固定資産合計 | 6,378,320 | 6,079,005 |
| 資産合計 | 16,400,902 | 15,115,528 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1 4,626,969 | 1 3,611,860 |
| 短期借入金 | - | 100,000 |
| 1年内償還予定の社債 | 100,000 | 100,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,454,582 | 1,229,605 |
| リース債務 | 2,472 | 2,472 |
| 未払法人税等 | 101,920 | 490 |
| 賞与引当金 | 115,204 | 48,858 |
| その他 | 345,806 | 353,714 |
| 流動負債合計 | 6,746,953 | 5,447,000 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 2,418,125 | 2,658,503 |
| リース債務 | 18,952 | 17,098 |
| 繰延税金負債 | 43,529 | 42,491 |
| 退職給付引当金 | 334,384 | 304,586 |
| 長期未払金 | 16,840 | 5,400 |
| 資産除去債務 | 33,674 | 33,674 |
| 固定負債合計 | 2,865,504 | 3,061,752 |
| 負債合計 | 9,612,458 | 8,508,752 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,513,687 | 1,513,687 |
| 資本剰余金 | 1,317,207 | 1,317,207 |
| 利益剰余金 | 3,959,601 | 3,795,168 |
| 自己株式 | 43,788 | 43,820 |
| 株主資本合計 | 6,746,708 | 6,582,242 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 41,736 | 24,533 |
| その他の包括利益累計額合計 | 41,736 | 24,533 |
| 純資産合計 | 6,788,444 | 6,606,775 |
| 負債純資産合計 | 16,400,902 | 15,115,528 |

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日) |
|-------------------------------|--|--|
| 売上高 | 11,020,963 | 10,708,214 |
| 売上原価 | 9,672,564 | 9,545,202 |
| 売上総利益 | 1,348,399 | 1,163,011 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 運搬費 | 286,091 | 302,294 |
| 給料及び手当 | 286,631 | 285,597 |
| 賞与引当金繰入額 | 24,245 | 22,135 |
| 退職給付費用 | 27,820 | 19,238 |
| 減価償却費 | 60,784 | 72,536 |
| のれん償却額 | 12,406 | 12,406 |
| その他 | 501,971 | 512,749 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 1,199,951 | 1,226,958 |
| 営業利益又は営業損失() | 148,447 | 63,946 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1,446 | 1,134 |
| 受取配当金 | 7,847 | 6,595 |
| 受取賃貸料 | 5,113 | 18,195 |
| 鉄屑売却収入 | 6,773 | 5,089 |
| 保険返戻金 | - | 9,315 |
| その他 | 9,151 | 8,614 |
| 営業外収益合計 | 30,331 | 48,944 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 39,263 | 32,235 |
| 売上割引 | 3,742 | 1,980 |
| 賃貸費用 | - | 7,341 |
| その他 | 774 | 905 |
| 営業外費用合計 | 43,780 | 42,463 |
| 経常利益又は経常損失() | 134,998 | 57,464 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 717 | 343 |
| 投資有価証券売却益 | - | 11,028 |
| 補助金収入 | 1 77,965 | - |
| 特別利益合計 | 78,682 | 11,372 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 2,448 | 3,887 |
| 固定資産売却損 | - | 13,974 |
| 投資有価証券評価損 | 12,936 | - |
| 固定資産圧縮損 | 2 77,965 | - |
| 特別損失合計 | 93,349 | 17,861 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失() | 120,331 | 63,953 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 140,011 | 9,906 |
| 法人税等調整額 | 25,548 | 48,693 |
| 法人税等合計 | 165,559 | 58,599 |
| 少数株主損益調整前四半期純損失() | 45,227 | 122,553 |
| 少数株主利益 | - | - |
| 四半期純損失() | 45,227 | 122,553 |

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日) |
|--------------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純損失() | 45,227 | 122,553 |
| その他の包括利益 | | |
| 其他有価証券評価差額金 | 30,464 | 17,203 |
| その他の包括利益合計 | 30,464 | 17,203 |
| 四半期包括利益 | 75,691 | 139,756 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 75,691 | 139,756 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | - | - |

【会計方針の変更】

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更に伴う当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日でしたが、満期日に決済が行われたものとして処理しております。当四半期連結会計期間末日満期手形の金額は、次のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日) |
|------|-------------------------|-------------------------------|
| 受取手形 | 256,115千円 | 238,508千円 |
| 支払手形 | 19,535 | 25,277 |

(四半期連結損益計算書関係)

1 補助金収入の内容は、株式会社サンユウ九州における土地取得に伴う地方公共団体からの用地取得助成金であります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日) |
|----------------|--|--|
| 土地取得に伴う用地取得助成金 | 77,965千円 | -千円 |

2 固定資産圧縮損の内容は、上記1の補助金収入を土地取得価額から直接控除したものであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日) |
|----|--|--|
| 土地 | 77,965千円 | -千円 |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日) |
|---------|--|--|
| 減価償却費 | 505,751千円 | 492,562千円 |
| のれんの償却額 | 12,406 | 12,406 |

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 配当の原資 | 1株当たり配 当額(円) | 基準日 | 効力発生日 |
|----------------------|-------|----------------|-------|-----------------|----------------|----------------|
| 平成23年6月29日 定時株主総会 | 普通株式 | 42,313 | 利益剰余金 | 7 | 平成23年 3月31日 | 平成23年 6月30日 |

(注) 配当金の総額には連結子会社が保有している親会社株式に対する配当金434千円が含まれております。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 配当の原資 | 1株当たり配 当額(円) | 基準日 | 効力発生日 |
|----------------------|-------|----------------|-------|-----------------|----------------|----------------|
| 平成24年6月28日 定時株主総会 | 普通株式 | 42,313 | 利益剰余金 | 7 | 平成24年 3月31日 | 平成24年 6月29日 |

(注) 配当金の総額には連結子会社が保有している親会社株式に対する配当金434千円が含まれております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

当社グループは、みがき棒鋼及び冷間圧造用鋼線事業の単一セグメントであるため、記載を省略しておりま
す。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日) |
|----------------------|--|--|
| 1株当たり四半期純損失金額() | 7円56銭 | 20円48銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純損失()(千円) | 45,227 | 122,553 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - | - |
| 普通株式に係る四半期純損失()(千円) | 45,227 | 122,553 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 5,982,726 | 5,982,688 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式
が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年2月8日

株式会社サンユウ

取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 堤 佳史 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 小林 洋之 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社サンユウの平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成24年10月1日から平成24年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社サンユウ及び連結子会社の平成24年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータは含まれていません。